

# 第45回東北中学校バスケットボール大会



試合No.	C6	男子予選リーグ	
会場	マエダアリーナ	日時	平成27年8月9日 15:40

チーム A						チーム B															
多賀城第二中学校	54	<table border="0"> <tr><td>16</td><td>1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>9</td><td>2nd</td><td>12</td></tr> <tr><td>12</td><td>3rd</td><td>15</td></tr> <tr><td>17</td><td>4th</td><td>18</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	16	1st	14	9	2nd	12	12	3rd	15	17	4th	18		OT		59			能代南中学校
16	1st	14																			
9	2nd	12																			
12	3rd	15																			
17	4th	18																			
	OT																				
	●		○																		

No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls	No.	選手氏名	PI-in	2P	3P	FT	PTS	Fouls
4	渡部 太良 CAP	×	1	1		5	1	4	牧野 湧 CAP	×	9		4	22	1
5	小野寺 海人	×					5	5	工藤 駿介	×	5	1	1	14	2
6	及川 理基							6	大高 悠	×	3		2	8	2
7	佐藤 圭介							7	大倉 夏輝	×					
8	阿部 直希	×	4			8	3	8	渡辺 魁星	×	4			8	3
9	澁谷 拓籠	×	3	3	1	16	1	9	成田 柚稀						
10	芳賀 優斗	/			2	2	3	10	古城 滉介	/	2	1		7	3
11	佐藤 侃	×	4	4	3	23	1	11	吉田 龍二						
12	吉田 佳祐							12	沢藤 連						
13	カ石 悠太郎							13	石木田 愛斗						
14	鈴木 侑介							14	小川 剣						
15	伊藤 朋哉							15	川村 功大						
16	佐々木 優							16	腰山 歩夢						
17	千葉 礼基							17	今野 皓太						
18	伊東 涼							18	日諸 海翔						
コーチ	内海 拓也							コーチ	相模 津						
本数			12	8	6	本数			23	2	7				
合計点数			24	24	6	54	14	合計点数			46	6	7	59	11

主審(Referee) 澤野卓朗 第1副審(Umpire1) 山形紀雄  
第2副審(Umpire2)

テーブルオフィシャルズ 青森市立浦町中学校

※ ×:スターター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー Fouls:ファウル \*印はエントリー変更

第1ピリオド、能代南3-2ゾーンディフェンス、多賀城第二はハーフコートマンツーマンでスタート。能代南は積極的に一対一を攻め、#4牧野、#5工藤が得点を重ねる。多賀城第二はゾーンをうまく攻め、パスでつないで#8阿部のミドル、#11佐藤のロングシュートを決めていく。16-14多賀城第二2点リードで終了。

第2ピリオド、能代南はゾーンから速攻を出して#4、#8渡辺のインサイドで加点し、ペースを掴む。多賀城第二は#9澁谷、#11のスリーポイントで応戦、一步も譲らない。26-25能代南1点リードで折り返す。

第3ピリオド、一進一退の攻防が続く、多賀城第二#11がカウントワンスローを決めると、能代南も#5がカウントワンスローを決め返す。37-37で残り1分10秒となったところで、能代南がタイムアウト。多賀城第二はゾーンディフェンスへ変更するが、逆にリバウンドシュート、速攻を決められ41-37、能代南4点リードで終了する。

第4ピリオド、多賀城第二は3-1-1ゾーンプレスを仕掛けるが、能代南#4の2点、#5のスリーポイント、#8渡辺の2点で加点50-39となり、多賀城第二はタイムアウトを請求する。その後、多賀城第二は3-1-1のゾーンプレスから、1-3-1のゾーンディフェンスを仕掛け、5点差まで詰め寄る。しかし、能代南は落ち着いて#4のインサイド、#8の速攻などで9点差までつける。残り33秒で再び多賀城第二が7点差まで詰めるが、能代南はタイムアウトを取り、落ち着いて対応、54-59で能代南が勝利した。能代南の安定したディフェンスとリバウンド力、#4のインサイドの力強さが光っていた。多賀城第二も最後まであきらめずボールを追いかける姿が印象的であった。

文責 【 澤谷直武 】